

荻野 圭三 (Ogino, Keizo)

① 経歴

出身：栃木県 足利市

学歴：東京工業大学 有機材料科 (旧 応用化学科)

職歴：旭電化工業株式会社 (現 (株) ADEKA) 主任研究員

② 学会活動

日本油化学会名誉会員 理事、副会長、会長

日本吸着学会名誉会員 副会長

日本表面科学会 常務理事

その他 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会役員

石油学会 評議員 等

③ 著書・総説

I : 著書 :

a) 単独執筆： 合成洗剤の知識 (幸書房)

Mixed Surfactant Systems (Marcel Dekker Inc.) 編集者 ; 荻野圭三

阿部正彦

表面の世界 (裳華房)

オレオサイエンス (日刊工業新聞社)

b) 共同執筆： 教科書、便欄、事典、技術資料 等

II : 総説 :

次ページ以下に記載 一研究論文は省略一

萩野圭三 業績リスト (2000年11月)

III 総説

- 1) 有機キレート化合物の洗浄への応用.
萩野圭三、表面、5 (8), 494-501 (1967).
- 2) ケイ酸ナトリウムの物理化学的性質.
萩野圭三、表面、8, 137-144 (1970).
- 3) 洗浄におけるビルダー効果.
萩野圭三、表面、8, 438-448 (1970).
- 4) 示差熱分析法の原理と測定法.
萩野圭三、色材協会誌、43, 287-293 (1970).
- 5) 新しいタイプの水溶性シリケート (訳).
萩野圭三、表面、9, 249-255 (1971).
- 6) アミンシリケート及びアンモニウムシリケート溶液 (訳).
萩野圭三、表面、9, 313-319 (1971).
- 7) 界面活性剤の化学構造と洗浄.
萩野圭三、表面、10, 199-208 (1972).
- 8) 洗浄機構とビルダー作用.
萩野圭三、生産研究、25, 179-186 (1973).
- 9) 洗濯におけるポリリン酸塩 (トリポリ) の効果.
萩野圭三、洗濯の科学、19, 20-27 (1974).
- 10) 合成洗剤におけるトリポリリン酸ナトリウム代替ビルダーの開発動向.
萩野圭三、染料と薬品、20, 358-368 (1975).
- 11) 変わりゆく合成洗剤.
萩野圭三、化学技術誌、MOL, (3), 25-30 (1979).
- 12) 油污れ界面化学的考察と洗浄のメカニズム (I) .-Rolling-up現象-
萩野圭三、洗浄設計、1 (1), 66-71 (1979).
- 13) 油污れ界面化学的考察と洗浄のメカニズム (II) .-自然乳化について-
萩野圭三、洗浄設計、1 (2), 38-44 (1979).
- 14) 可溶化の機構について.
萩野圭三、表面、18 (10), 543-548 (1980).
- 15) 第17回 日本油化学協会賞論文賞
界面活性物質の物理化学的研究.
萩野圭三、油化学、32 (11), 649-658 (1983).
- 16) 混ぜる、分散と溶解-
萩野圭三、油化学、33 (9), 563 (1984).
- 17) フッ素系界面活性剤の構造と物性.
萩野圭三、材料技術、2 (11), 613 (1984).
- 18) 石炭分散燃料について.
阿部正彦、萩野圭三、粉体と工業、Vol. 16 (8), 25-34 (1984).
- 19) 複合界面活性剤溶液の物性.
萩野圭三、油化学、34 (7), 568-575 (1985).
- 20) 界面活性剤の溶液物性. -液/液分散系-

- 阿部正彦、荻野圭三、色材協会誌、60(2), 100-110 (1987).
- 2 1) 非イオン界面活性剤および種々の界面活性剤混合系による可溶化。
荻野圭三、内山浩孝、阿部正彦、表面、26(9), 652-663 (1988).
- 2 2) 最近の乳化技術の進歩と今後の課題。
荻野圭三、フレグランス・ジャーナル、1989-4, 7-13 (1989).
- 2 3) 分かりやすい”乳化”の話。－乳化とエマルション－
荻野圭三、阿部正彦、SUT Bulletin, 1990-2, 12-24 (1990).
- 2 4) 炭素系吸着剤の表面改質と吸着特性。－表面化学構造と吸着－
荻野圭三、表面、29(6), 448-459 (1991).
- 2 5) 石油高次回収に係わるマイクロエマルション形成に関する研究。
荻野圭三、阿部正彦、ペトロテック誌、14(8), 736-738 (1991).
- 2 6) 石油高次回収に係わるマイクロエマルションの調製と物性。
荻野圭三、阿部正彦、石油学会誌、35(3), 213-225 (1992).
- 2 7) 乳化系における界面活性剤の役割。
荻野圭三、日本化粧品技術者会誌、(1992, 7).
- 2 8-3 9) 界面の話(1 2話連載)－界面活性剤の基礎知識(一)－
荻野圭三、SUT Bulletin (東京理科大学教養雑誌) 1994.7~1995.6 (一年間).
- 2 8) [界面の話I] いま、なぜ”界面”なのか－身近なものから先端技術まで－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.7, 52-57 (1994).
- 2 9) [界面の話II] 液体の表面－ミクロな液体の表面、水の構造と物性－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.8, 52-55 (1994).
- 3 0) [界面の話III] 固体の表面－高エネルギー表面と低エネルギー表面－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.9, 60-64 (1994).
- 3 1) [界面の話IV] むれ－水にぬれるもの、ぬれないもの－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.10, 48-52 (1994).
- 3 2) [界面の話V] 吸着とは、－分子ふるい効果と超薄膜の形成－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.11, 50-55 (1994).
- 3 3) [界面の話VI] 界面を変える(1)－界面活性剤の基本的な性質と作用－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.12, 52-58 (1994).
- 3 4) [界面の話VII] 界面を変える(2)－界面活性剤の種類と機能－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.1, 54-59 (1995).
- 3 5) [界面の話VIII] コロイドの性質(1)－顕微鏡1台でアボガドロ数が求められる
荻野圭三、SUT Bulletin, No.2, 56-61 (1995).
- 3 6) [界面の話IX] コロイドの性質(2)－コロイド粒子は芸術的、ロマンがある－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.3, 56-61 (1995).
- 3 7) [界面の話X] 安定なコロイドと不安定なコロイド－分散と凝集－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.4, 58-63 (1995).
- 3 8) [界面の話XI] 洗浄のメカニズム－汚れはなぜ落ちる、界面現象のメカニズム－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.5, 60-65 (1995).
- 3 9) [界面の話XII] 界面を見つめて－見たり、聞いたり、試したり－
荻野圭三、SUT Bulletin, No.6, 60-65 (1995).
- 4 0) 水と油のさかいめをつなぐ界面活性物質
荻野圭三、ファームテク・ジャパン (薬業時報社) 12(8), 1115-1125 (1996).

- 4 1) 新規界面活性剤の研究開発
荻野圭三、油化学、45(10), 921-932 (1996).
- 4 2) 乳化剤の機能と役割
荻野圭三、ファインケミカル、26(11), 13 (1997).
- 4 3) 最近のエマルション技術の進歩
荻野圭三、FRAGRANCE JOURNAL、1998-8, 11-20 (1998).
- 4 4) 最近のエマルション調製技術の動向
荻野圭三、ケミカルエンジニアリング、44(10), 753-761 (1999)